



2025年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年5月9日

上場会社名 株式会社AOKIホールディングス
 コード番号 8214 URL <https://www.aoki-hd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田村 春生
 問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 江口 聡
 定時株主総会開催予定日 2025年6月27日 配当支払開始予定日 2025年6月9日
 有価証券報告書提出予定日 2025年6月25日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

上場取引所 東
 (TEL) 045-941-1388
 2025年6月9日

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期の連結業績(2024年4月1日~2025年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | |
|----------|---------|-----|--------|------|--------|------|-----------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2025年3月期 | 192,688 | 2.6 | 15,646 | 12.9 | 14,782 | 11.7 | 9,574 | 26.4 |
| 2024年3月期 | 187,716 | 6.6 | 13,860 | 35.4 | 13,235 | 57.0 | 7,574 | 34.5 |

(注) 包括利益 2025年3月期 9,351百万円(20.6%) 2024年3月期 7,756百万円(32.7%)

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益 | 自己資本 当期純利益率 | 総資産 経常利益率 | 売上高 営業利益率 |
|----------|----------------|---------------------------|----------------|--------------|--------------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 2025年3月期 | 113.89 | — | 6.9 | 6.3 | 8.1 |
| 2024年3月期 | 90.03 | — | 5.6 | 5.6 | 7.4 |

(参考) 持分法投資損益 2025年3月期 一百万円 2024年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|---------|---------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2025年3月期 | 232,976 | 142,140 | 60.9 | 1,686.64 |
| 2024年3月期 | 236,327 | 137,056 | 57.9 | 1,627.63 |

(参考) 自己資本 2025年3月期 141,842百万円 2024年3月期 136,757百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動による キャッシュ・フロー | 投資活動による キャッシュ・フロー | 財務活動による キャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物 期末残高 |
|----------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2025年3月期 | 21,736 | △8,519 | △13,992 | 34,880 |
| 2024年3月期 | 17,593 | △10,886 | △9,344 | 35,657 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 (連結) | 純資産 配当率 (連結) |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|---------------|--------------|--------------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 2024年3月期 | — | 13.00 | — | 37.00 | 50.00 | 4,201 | 55.5 | 3.1 |
| 2025年3月期 | — | 15.00 | — | 60.00 | 75.00 | 6,307 | 65.9 | 4.5 |
| 2026年3月期(予想) | — | 20.00 | — | 60.00 | 80.00 | | 70.1 | |

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----|---------|-----|--------|-----|--------|------|-----------------|-----|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通 期 | 198,000 | 2.8 | 17,000 | 8.6 | 16,400 | 10.9 | 9,600 | 0.3 | 114.15 |

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) ①及び③の詳細は、添付資料14ページ「会計方針の変更」及び「会計上の見積りの変更」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

| | | | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 2025年3月期 | 86,649,504株 | 2024年3月期 | 86,649,504株 |
|----------|-------------|----------|-------------|

② 期末自己株式数

| | | | |
|----------|------------|----------|------------|
| 2025年3月期 | 2,551,777株 | 2024年3月期 | 2,626,986株 |
|----------|------------|----------|------------|

③ 期中平均株式数

| | | | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 2025年3月期 | 84,068,804株 | 2024年3月期 | 84,128,272株 |
|----------|-------------|----------|-------------|

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料4ページ「1. 経営成績の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料について)

・決算補足説明資料については、2025年5月9日(金)にTDnetに開示するとともに当社ホームページに掲載しております。

(決算説明会資料について)

・当社は、2025年5月22日(木)に機関投資家・アナリスト向け決算説明会（WEB説明会）を開催する予定です。この決算説明会資料等については、開催当日の午前中に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

| | 頁 |
|------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当期の財政状態の概況 | 3 |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況 | 3 |
| (4) 今後の見通し | 4 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 4 |
| 3. 連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | 7 |
| 連結損益計算書 | 7 |
| 連結包括利益計算書 | 8 |
| (3) 連結株主資本等変動計算書 | 9 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | 11 |
| (5) 連結財務諸表に関する注記事項 | 12 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 12 |
| (重要な会計上の見積り) | 12 |
| (会計方針の変更) | 14 |
| (会計上の見積りの変更) | 14 |
| (表示方法の変更) | 14 |
| (セグメント情報等) | 15 |
| (1株当たり情報) | 17 |
| (重要な後発事象) | 17 |
| 4. その他 | 17 |
| 役員の異動 | 17 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、海外における地政学的リスクの長期化や金融政策、また、国内ではエネルギーコストや円安等による原材料価格の高騰により物価上昇の影響が懸念され、先行きは不透明な状況が続いております。このような環境のなかで、当社グループは各事業において市場環境やライフスタイルの変化に対応し下記のような諸施策を実施した結果、当連結会計年度の業績は、

| | |
|-----------------|--------------------------|
| 売上高 | 1,926億88百万円（前年同期比 2.6%増） |
| 営業利益 | 156億46百万円（前年同期比12.9%増） |
| 経常利益 | 147億82百万円（前年同期比11.7%増） |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 95億74百万円（前年同期比26.4%増） |

となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

(ファッション事業)

ファッション事業では、新入学や入社を迎えるフレッシュャーズの皆様に向けて、同世代から人気の高いキャンペーンキャラクターを起用した「フレッシュャーズ応援フェア」を開催し、大変ご好評をいただきました。また、AOKIの高機能レディースウェア・ブランド「MeWORK（ミワーク）」では、ビジネスやセレモニー等様々なシーンで着まわせる春の新作セットアップを発売し、品揃えの拡充と提案を強化いたしました。ORIHICAでは、未出店エリアを含め積極的な新規出店による認知度向上とマーケットシェア拡大を推し進めるとともに、スポーツ感覚のビジカジウェア「BIZSP0」のアイテムを拡充し、品揃えを強化いたしました。店舗面では、AOKIで移転により1店舗及びORIHICAで15店舗を新規出店した一方、営業効率改善や移転のためAOKIで2店舗、ORIHICAで4店舗を閉鎖した結果、期末店舗数は603店舗（前期末593店舗）となりました。

これらの諸施策の実施並びに客単価の上昇等により既存店が堅調に推移したこと及び2月後半から3月にかけてフレッシュャーズ商戦が好調だったこと等により、売上高は1,026億21百万円（前年同期比2.6%増）、営業利益は86億90百万円（前年同期比7.5%増）と増収増益になりました。

(エンターテイメント事業)

複合カフェの快活CLUBでは、鍵付き完全個室店舗の拡大を継続するとともに、店舗ごとに人気の高いコンテンツの導入や店舗環境改善のための改装等、きめ細かな対応を実施することで集客の強化・客単価向上に注力いたしました。カラオケのコート・ダジュールでは、学生限定学割メニューや法人会員様限定飲み放題コースの提供、また、ご好評をいただいている「金のポテト」から白トリュフ味を新たに販売するなど飲食メニューを強化いたしました。24時間営業のセルフ型フィットネスジムのFIT24では、無料体験会等のイベント開催や紹介割・乗換え割等により新規会員の獲得に注力するとともに、トレーニングサポートを全店に拡大し退会の抑制を図りました。店舗面では、快活CLUBで14店舗及びFIT24で3店舗を新規出店した一方、営業効率改善のため、快活CLUBで14店舗、コート・ダジュールで5店舗及びFIT24で4店舗を閉鎖した結果、ランシステムの複合カフェ自遊空間他82店舗（内フランチャイズ49店舗）を含め、期末店舗数は768店舗（前期末784店舗）となりました。

これらの諸施策の実施や既存店が堅調に推移した結果、売上高は760億40百万円（前年同期比0.7%増）、営業利益は59億91百万円（前年同期比9.8%増）と増収増益になりました。

(アニヴェルセル・ブライダル事業)

アニヴェルセル・ブライダル事業では、引き続きブライダルフェアの充実や集客イベントへの参画により受注活動を強化するとともに、料飲・衣装・装花・映像など各種アイテムの提案強化等により組単価アップに注力いたしました。また、表参道店及びみなとみらい横浜店のアニヴェルセルカフェにおいて、季節に合わせた期間限定メニューの提供やギフトの販売を実施いたしました。

これらの諸施策の実施及び前期の9月中旬まで休館中であった表参道店の稼働により施行組数が増加したこと等により、売上高は117億13百万円（前年同期比14.2%増）、営業利益は5億41百万円（前年同期比837.9%増）と増収増益になりました。

(不動産賃貸事業)

不動産賃貸事業では、前期にグループ外への賃貸を実施した店舗が寄与したこと等により、売上高は68億77百万円（前年同期比13.6%増）、営業利益は15億87百万円（前年同期比20.9%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べ33億51百万円減少し、2,329億76百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金が7億76百万円、未収入金等のその他が11億38百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ19億80百万円減少いたしました。固定資産は、有形固定資産が新規出店等により10億68百万円増加した一方、無形固定資産が3億67百万円、投資有価証券が売却等により14億38百万円及び繰延税金資産が6億66百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ13億70百万円減少いたしました。

(負債)

流動負債は、1年内返済予定の長期借入金が4億63百万円増加した一方、買掛金が仕入高の減少等により6億89百万円、未払費用等のその他が10億94百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ12億30百万円減少いたしました。固定負債は、長期借入金が約定返済等により70億2百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ72億4百万円減少いたしました。

(純資産)

純資産の部は、利益剰余金が親会社株主に帰属する当期純利益及び配当金の支払いの結果52億4百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比べ50億84百万円増加しております。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

キャッシュ・フローの状況

| | 前連結会計年度 | 当連結会計年度 |
|----------------------|-----------|-----------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 17,593百万円 | 21,736百万円 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △10,886 | △8,519 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △9,344 | △13,992 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △2,638 | △776 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 38,295 | 35,657 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 35,657 | 34,880 |

当連結会計年度末の現金及び現金同等物は、税金等調整前当期純利益が増加した一方、長期借入金の純支出が増加したこと等により、前連結会計年度末と比べ7億76百万円減少し、348億80百万円となりました。

営業活動により得られた資金は、217億36百万円（前年同期と比べ41億42百万円増加）となりました。これは主に、法人税等の支払額が37億37百万円となった一方、税金等調整前当期純利益が139億43百万円、減価償却費が99億200百万円及び減損損失が16億200百万円となったことによるものです。

投資活動により使用した資金は、85億19百万円（前年同期と比べ23億66百万円減少）となりました。これは主に設備投資のための有形固定資産を99億73百万円取得したことによるものです。

財務活動により使用した資金は、139億92百万円（前年同期と比べ46億47百万円増加）となりました。これは主に、長期借入れを30億円実施した一方、長期借入金の返済95億39百万円、リース債務の返済25億88百万円及び配当金の支払い43億63百万円実施したことによるものです。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、エネルギーコストや原材料価格の高騰による物価上昇、米国の関税政策の動向の影響等、依然として先行きは不透明な状況が続くものと思われま。このような環境のなかで、引き続き市場環境やライフスタイルの変化に対応した商品及びサービスの提供を行い、それぞれの事業において新たな価値の創造を継続するとともに、各事業間におけるシナジーを高めグループとしての企業価値の向上を図ってまいります。

ファッション事業では、LIFE & WORK STYLE (ライフ&ワークスタイル) のAOKI・ORIHICAとして、カジュアルやレディース商品を拡充し提案を強化するとともに、DX等を推進し店舗オペレーションの効率化により営業効率の改善を図ってまいります。新規出店は、引き続きORIHICAの出店を強化し、17店舗を予定しております。

エンターテイメント事業は、鍵付き完全個室店舗の拡大を推進するとともに、様々なコンテンツや新サービスを導入し幅広いお客様層のニーズにお応えしてまいります。また、引き続き省人化を推進することで店舗オペレーションの効率化に注力してまいります。新規出店は、快活CLUB、コート・ダジュール及びFIT24あわせて30店舗を予定しております。

アニヴェルセル・ブライダル事業は、旗艦店である表参道店とみなとみらい横浜店の更なる強化を図るとともに、店舗運営の効率化・標準化を推進し営業効率の改善を図ってまいります。また、企業イベントやパーティー利用など新たな需要の取り込みを強化してまいります。

セグメント別の業績は、以下のとおり予想しております。

【2026年3月期のセグメント別予想】

(単位：百万円)

| | ファッション事業 | エンターテイメント事業 | アニヴェルセル・ブライダル事業 | 不動産賃貸事業 | 連結 |
|----------|----------|-------------|-----------------|---------|---------|
| 売上高 | 105,200 | 78,000 | 12,300 | 7,100 | 198,000 |
| 前年同期比(%) | 102.5 | 102.6 | 105.0 | 103.2 | 102.8 |
| セグメント利益 | 9,200 | 6,700 | 700 | 1,600 | 17,000 |
| 前年同期比(%) | 105.9 | 111.8 | 129.2 | 100.8 | 108.6 |

(注) セグメント利益は営業利益ベースの数値であり、各セグメントの合計と連結との差異はその他事業及び連結上の調整額です。

なお、各事業の既存店増収率の前提は以下のとおりです。

(単位：%)

| | 第1四半期 | 第2四半期 | 上半期 | 第3四半期 | 第4四半期 | 下半期 | 通期 |
|-------------|-------|-------|-----|-------|-------|-----|-----|
| ファッション事業 | △0.1 | 2.1 | 0.8 | 3.4 | △0.6 | 0.8 | 0.8 |
| エンターテイメント事業 | 1.0 | 0.3 | 0.6 | 1.7 | 2.4 | 2.0 | 1.3 |

(注) 1. アニヴェルセル・ブライダル事業は、既存店の施行組数は前年同期比2.8%増を見込んでおります。

2. エンターテイメント事業にはランシステムは含まれておりません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの事業は、すべて国内で展開しており、また、海外からの資金調達必要性が乏しく、海外投資家の割合も大きくないこと等から、会計基準は日本基準を適用しております。

なお、今後につきましては、当社グループの事業展開や他社の動向等を踏まえて、IFRS (国際財務報告基準) の適用について適切に対応していく方針です。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2024年3月31日) | 当連結会計年度 (2025年3月31日) |
|---------------------|-------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 35,657 | 34,880 |
| 売掛金 | 15,442 | 14,855 |
| 棚卸資産 | 22,247 | 22,737 |
| その他 | 8,496 | 7,357 |
| 貸倒引当金 | △42 | △11 |
| 流動資産合計 | 81,800 | 79,819 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 145,798 | 149,701 |
| 減価償却累計額 | △81,391 | △83,940 |
| 建物及び構築物 (純額) | 64,406 | 65,760 |
| 機械、運搬具及び工具器具備品 | 24,673 | 26,849 |
| 減価償却累計額 | △14,345 | △15,595 |
| 機械、運搬具及び工具器具備品 (純額) | 10,327 | 11,253 |
| 土地 | 30,693 | 30,397 |
| リース資産 | 16,723 | 14,429 |
| 減価償却累計額 | △11,286 | △9,913 |
| リース資産 (純額) | 5,437 | 4,516 |
| 建設仮勘定 | 176 | 182 |
| 有形固定資産合計 | 111,042 | 112,110 |
| 無形固定資産 | | |
| 投資その他の資産 | 6,771 | 6,403 |
| 投資有価証券 | 2,199 | 760 |
| 差入保証金 | 6,446 | 6,233 |
| 敷金 | 18,873 | 19,025 |
| 退職給付に係る資産 | — | 143 |
| 繰延税金資産 | 7,785 | 7,119 |
| その他 | 1,461 | 1,383 |
| 貸倒引当金 | △52 | △24 |
| 投資その他の資産合計 | 36,713 | 34,642 |
| 固定資産合計 | 154,526 | 153,156 |
| 資産合計 | 236,327 | 232,976 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2024年3月31日) | 当連結会計年度 (2025年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 18,713 | 18,023 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 9,842 | 10,305 |
| リース債務 | 2,284 | 1,808 |
| 未払金 | 7,114 | 7,737 |
| 未払法人税等 | 2,106 | 2,190 |
| 契約負債 | 1,876 | 2,174 |
| 賞与引当金 | 3,790 | 3,398 |
| 役員賞与引当金 | 240 | 193 |
| その他 | 5,889 | 4,794 |
| 流動負債合計 | 51,857 | 50,627 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 32,687 | 25,684 |
| リース債務 | 3,402 | 2,865 |
| 退職給付に係る負債 | 607 | 62 |
| 資産除去債務 | 7,914 | 8,818 |
| その他 | 2,800 | 2,776 |
| 固定負債合計 | 47,412 | 40,207 |
| 負債合計 | 99,270 | 90,835 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 23,282 | 23,282 |
| 資本剰余金 | 22,597 | 22,612 |
| 利益剰余金 | 92,813 | 98,017 |
| 自己株式 | △3,047 | △2,960 |
| 株主資本合計 | 135,645 | 140,952 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 741 | 151 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 369 | 737 |
| その他の包括利益累計額合計 | 1,111 | 889 |
| 非支配株主持分 | 299 | 298 |
| 純資産合計 | 137,056 | 142,140 |
| 負債純資産合計 | 236,327 | 232,976 |

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日) |
|--------------------------------------|--|--|
| 売上高 | 187,716 | 192,688 |
| 売上原価 | 110,786 | 111,998 |
| 売上総利益 | 76,929 | 80,690 |
| 販売費及び一般管理費 | 63,069 | 65,043 |
| 営業利益 | 13,860 | 15,646 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 70 | 89 |
| 受取配当金 | 37 | 20 |
| その他 | 221 | 160 |
| 営業外収益合計 | 329 | 271 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 286 | 255 |
| 固定資産除却損 | 94 | 156 |
| 店舗閉鎖損失 | 372 | 141 |
| 差入保証金・敷金解約損 | 6 | 171 |
| システム障害対応費用 | — | 173 |
| その他 | 193 | 236 |
| 営業外費用合計 | 954 | 1,135 |
| 経常利益 | 13,235 | 14,782 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 28 | 184 |
| 投資有価証券売却益 | 154 | 563 |
| 関係会社株式売却益 | 320 | — |
| 収用補償金 | — | 157 |
| 受取解決金 | 500 | — |
| 特別利益合計 | 1,003 | 905 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | — | 20 |
| 減損損失 | 1,798 | 1,620 |
| 投資有価証券評価損 | — | 103 |
| 特別損失合計 | 1,798 | 1,743 |
| 税金等調整前当期純利益 | 12,441 | 13,943 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 4,028 | 3,826 |
| 法人税等調整額 | 820 | 543 |
| 法人税等合計 | 4,849 | 4,370 |
| 当期純利益 | 7,592 | 9,573 |
| 非支配株主に帰属する当期純利益又は 非支配株主に帰属する当期純損失 | 17 | △0 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 7,574 | 9,574 |

連結包括利益計算書

| | (単位：百万円) | |
|--------------|--|--|
| | 前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日) |
| 当期純利益 | 7,592 | 9,573 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 59 | △590 |
| 退職給付に係る調整額 | 104 | 367 |
| その他の包括利益合計 | 164 | △222 |
| 包括利益 | 7,756 | 9,351 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | 7,738 | 9,352 |
| 非支配株主に係る包括利益 | 17 | △0 |

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：百万円)

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------|--------|--------|--------|--------|---------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 23,282 | 23,795 | 87,434 | △3,490 | 131,022 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △2,196 | | △2,196 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 7,574 | | 7,574 |
| 自己株式の取得 | | | | △877 | △877 |
| 自己株式の処分 | | △32 | | 155 | 123 |
| 自己株式の消却 | | △1,165 | | 1,165 | — |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | △1,197 | 5,378 | 443 | 4,623 |
| 当期末残高 | 23,282 | 22,597 | 92,813 | △3,047 | 135,645 |

| | その他の包括利益累計額 | | | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|---------------------|------------------|------------------|-------------------|---------|---------|
| | その他有価証券 評価差額金 | 退職給付に係る 調整累計額 | その他の包括利益 累計額合計 | | |
| 当期首残高 | 682 | 265 | 947 | 281 | 132,251 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | △2,196 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | | 7,574 |
| 自己株式の取得 | | | | | △877 |
| 自己株式の処分 | | | | | 123 |
| 自己株式の消却 | | | | | — |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 59 | 104 | 164 | 17 | 181 |
| 当期変動額合計 | 59 | 104 | 164 | 17 | 4,805 |
| 当期末残高 | 741 | 369 | 1,111 | 299 | 137,056 |

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------|--------|--------|--------|--------|---------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 23,282 | 22,597 | 92,813 | △3,047 | 135,645 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △4,370 | | △4,370 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 9,574 | | 9,574 |
| 自己株式の取得 | | | | △0 | △0 |
| 自己株式の処分 | | 15 | | 88 | 103 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | 15 | 5,204 | 87 | 5,307 |
| 当期末残高 | 23,282 | 22,612 | 98,017 | △2,960 | 140,952 |

| | その他の包括利益累計額 | | | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|---------------------|------------------|------------------|-------------------|---------|---------|
| | その他有価証券 評価差額金 | 退職給付に係る 調整累計額 | その他の包括利益 累計額合計 | | |
| 当期首残高 | 741 | 369 | 1,111 | 299 | 137,056 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | △4,370 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | | 9,574 |
| 自己株式の取得 | | | | | △0 |
| 自己株式の処分 | | | | | 103 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | △590 | 367 | △222 | △0 | △222 |
| 当期変動額合計 | △590 | 367 | △222 | △0 | 5,084 |
| 当期末残高 | 151 | 737 | 889 | 298 | 142,140 |

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日) |
|--------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益 | 12,441 | 13,943 |
| 減価償却費 | 9,635 | 9,920 |
| 減損損失 | 1,798 | 1,620 |
| のれん償却額 | 81 | 81 |
| 退職給付に係る資産負債の増減額 | △141 | △174 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | 440 | △391 |
| 受取利息及び受取配当金 | △108 | △110 |
| 支払利息 | 286 | 255 |
| 固定資産売却益 | △28 | △185 |
| 固定資産売却損 | — | 20 |
| 投資有価証券売却損益 (△は益) | △154 | △563 |
| 関係会社株式売却益 | △320 | — |
| 投資有価証券評価損益 (△は益) | — | 103 |
| 受取解決金 | △500 | — |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △2,420 | 586 |
| 棚卸資産の増減額 (△は増加) | △2,781 | △490 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 750 | △689 |
| 契約負債の増減額 (△は減少) | 87 | 298 |
| 未払消費税等の増減額 (△は減少) | △663 | 396 |
| その他 | 2,521 | 522 |
| 小計 | 20,923 | 25,143 |
| 利息及び配当金の受取額 | 93 | 95 |
| 利息の支払額 | △301 | △263 |
| 解決金の受取額 | 500 | — |
| 法人税等の支払額 | △4,495 | △3,737 |
| 法人税等の還付額 | 873 | 498 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 17,593 | 21,736 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △11,186 | △9,973 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 977 | 1,566 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △707 | △752 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | △589 | △862 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | 462 | 852 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 323 | 1,304 |
| 信託受益権の純増減額 (△は増加) | △406 | 56 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入 | 311 | — |
| その他 | △71 | △711 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △10,886 | △8,519 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 長期借入れによる収入 | 6,000 | 3,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △10,213 | △9,539 |
| リース債務の返済による支出 | △2,057 | △2,588 |
| 自己株式の取得による支出 | △877 | △0 |
| 配当金の支払額 | △2,196 | △4,363 |
| その他 | — | △500 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △9,344 | △13,992 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 0 | △0 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △2,638 | △776 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 38,295 | 35,657 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 35,657 | 34,880 |

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な会計上の見積り)

1. 店舗固定資産の減損

(1) 当連結会計年度の連結財務諸表に計上した金額

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 | | | 当連結会計年度 | | |
|-----------------------------|----------|-------------|-----------------|----------|-------------|-----------------|
| | ファッション事業 | エンターテイメント事業 | アニヴェルセル・ブライダル事業 | ファッション事業 | エンターテイメント事業 | アニヴェルセル・ブライダル事業 |
| セグメント別固定資産の期末帳簿価額(減損損失計上後)※ | 44,877 | 58,046 | 13,194 | 45,146 | 57,304 | 13,784 |
| 減損損失 | 273 | 1,180 | — | 360 | 1,229 | — |

※ 店舗固定資産及び共用資産等を含みます。

(2) 識別した項目に係る重要な会計上の見積りの内容に関する情報

① 見積りの算出方法

減損の兆候の把握、減損損失の認識及び測定は、各店舗の翌連結会計年度予算及び将来キャッシュ・フローの見積りを使用しております。

資金生成単位は、各店舗を独立したキャッシュ・フローを生み出す最小の単位としており、各店舗の営業損益が過去2か年連続してマイナスとなった場合、当年度がマイナスであり翌年度予算も継続してマイナスである場合及び店舗の固定資産の時価が著しく下落した場合、あるいは店舗閉鎖の意思決定をした場合等に減損の兆候を把握しております。減損の兆候が把握された店舗については、将来キャッシュ・フローを見積り、割引前将来キャッシュ・フローの合計が当該店舗の固定資産の帳簿価額を下回る場合には、固定資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。回収可能価額は正味売却価額と使用価値のいずれか高い金額によっております。

② 主要な仮定

将来キャッシュ・フローの見積りは、適切な権限を有する経営者の承認を得た事業計画に基づく各店舗の将来の収益予測及び営業利益予測に基づいております。割引前将来キャッシュ・フローの合計及び使用価値の算定にあたっては、各店舗の営業継続期間の予測を20年又は契約更新が出来ない店舗は契約期間、あるいは退店予定までの期間としております。

(ファッション事業)

ファッション事業は、開店初年度は初期費用がかかり通常営業損失になるため、減損の兆候を把握する対象から除外しております。また、ビジネススタイルのカジュアル化等の影響によりビジネスモデルの進化が必要であると認識しており、ビジカジを含めたカジュアル衣料やレディースの強化を進めてまいります。将来の収益予測を見積るにあたり、翌連結会計年度以降の既存店売上高合計は、当連結会計年度と比べ、101%前後で推移するとの仮定を置いております。

(エンターテイメント事業)

エンターテイメント事業の顧客の数は認知度の向上とともに初年度から3年程度増加する傾向があり、開店初年度は初期費用がかかり通常営業損失になるため、減損の兆候を把握する店舗から除外しております。将来の収益予測を見積るにあたり、翌連結会計年度以降の既存店売上高合計(株式会社ランシステム及びその子会社除く)は、当連結会計年度と比べ、98%から101%(複合カフェで98%から101%、カラオケで97%から101%、フィットネスで97%から107%)で推移するとの仮定を置いております。

(アニヴェルセル・ブライダル事業)

アニヴェルセル・ブライダル事業は、ウエディングスタイル(ファミリーウエディングやフォトウエディング)の変化が見られ施行組数や一組当たりの単価が変動してはりましたが、ウエディングスタイルの変化は落ちつきを見せております。将来の収益予測を見積るにあたり、これらの変化により施行組数及び一組単価はやや上昇すると仮定しており、翌連結会計年度以降の既存店の施行組数及び一組単価は当連結会計年度と比べそれぞれ100%から103%との仮定を置いております。

(3) 翌連結会計年度の連結財務諸表に与える影響

市場環境の変化等により翌連結会計年度以降の収益予測及び営業利益予測の仮定が大きく異なった場合には、翌連結会計年度の減損損失に影響を与える可能性があります。

当連結会計年度が開店初年度であるため、また、減損損失の兆候を把握したが将来の収益予測及び営業利益予測により、減損損失を計上しなかった店舗の固定資産の帳簿価額は以下のとおりです。

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 | | | 当連結会計年度 | | |
|------------------------------------|----------|-------------|-----------------|----------|-------------|-----------------|
| | ファッション事業 | エンターテイメント事業 | アニヴェルセル・ブライダル事業 | ファッション事業 | エンターテイメント事業 | アニヴェルセル・ブライダル事業 |
| 開店初年度であるため減損の兆候から除外した店舗の固定資産帳簿価額 | 72 | 1,604 | — | 649 | 1,590 | — |
| 減損の兆候を把握したが減損損失を計上しなかった店舗の固定資産帳簿価額 | 2,801 | ※1 10,856 | 2,068 | 2,432 | ※2 9,117 | 1,518 |

※1. うち、複合カフェ8,269百万円、カラオケ934百万円、フィットネス1,652百万円

2. うち、複合カフェ6,701百万円、カラオケ606百万円、フィットネス1,809百万円

2. 繰延税金資産の回収可能性

(1) 当連結会計年度の連結財務諸表に計上した金額

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 | 当連結会計年度 |
|--------|---------|---------|
| 繰延税金資産 | 7,785 | 7,119 |

(2) 識別した項目に係る重要な会計上の見積りの内容に関する情報

① 算出方法

当社及び連結子会社ごとに、将来加算一時差異の解消スケジュール、収益力に基づく将来の課税所得及びタックス・プランニング等に基づいて、将来の税負担を軽減する効果を有する範囲内で繰延税金資産を計上しております。将来の収益力に基づく当社及び連結子会社の課税所得見込みは、適切な権限を有する経営者の承認を得た事業計画に基づいております。

② 主要な仮定

当社及び各連結子会社が策定した事業計画には将来の需要動向や売上予測等の見積りが含まれております。連結子会社における事業の主要な仮定の内容は、「1. 店舗固定資産の減損」に記載しております。なお、連結子会社の事業計画には、翌期以降の出店計画に伴う収益の見込みが含まれております。

③ 翌連結会計年度の財務諸表に与える影響

市場環境の変化等により翌連結会計年度以降の収益予測及び営業利益予測の仮定が大きく異なった場合には、翌連結会計年度の繰延税金資産及び法人税等調整額の増減に影響を与える可能性があります。

(会計方針の変更)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。

なお、当該会計方針の変更による連結財務諸表への影響はありません。

(会計上の見積りの変更)

当連結会計年度において、不動産賃貸契約に伴う原状回復義務等として計上していた資産除去債務について、退店等の新たな情報の入手に伴い、店舗の退店時に必要とされる原状回復費用に関して見積りの変更を行いました。この見積りの変更による増加額1,104百万円を変更前の資産除去債務に加算しております。

なお、この変更による当連結会計年度の損益に与える影響はありません。

(表示方法の変更)

(連結損益計算書関係)

前連結会計年度において、独立掲記しておりました「営業外収益」の「保険差益」は、金額的重要性が乏しくなったため、当連結会計年度より「営業外費用」の「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「営業外収益」の「保険差益」として表示していた49百万円は、「その他」として組み替えております。

前連結会計年度において、「営業外費用」の「その他」に含めていた「差入保証金・敷金解約損」は、営業外費用の総額の100分の10を超えたため、当連結会計年度より独立掲記することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「営業外費用」の「その他」に表示していた200百万円は、「差入保証金・敷金解約損」6百万円、「その他」193百万円として組み替えております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、当社が純粋持株会社として各社の事業をサポートするとともに、当社及び各事業会社は取り扱い商品・サービスについて国内の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

当社及び各事業会社は取り扱い商品・サービス別セグメントから構成されており、「ファッション事業」、「エンターテインメント事業」、「アニヴェルセル・ブライダル事業」及び「不動産賃貸事業」の4つを報告セグメントとしております。

「ファッション事業」は、メンズ及びレディース衣料の企画販売、「エンターテインメント事業」は、時代のニーズに合わせた様々な“こと”を楽しむ空間とサービスを提供する快活CLUB・自遊空間及びフィットネスジム並びにカラオケルーム等の展開、「アニヴェルセル・ブライダル事業」は、結婚式場の運営、「不動産賃貸事業」は、各事業の閉店後の店舗等を当社グループ内外に賃貸する等の事業を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用している会計処理の方法と概ね同一です。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値です。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報並びに収益の分解情報
前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 連結 財務諸表 計上額 (注)3 |
|------------------------|------------------|--------------------------|---------------------------------|-------------|---------|-------------|---------|-------------|---------------------------|
| | ファッ ション 事業 | エンター テイン メント 事業 | アニヴェ ルセル・ ブライ ダル事 業 | 不動産賃 貸事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | |
| ファッション | 100,035 | — | — | — | 100,035 | — | 100,035 | — | 100,035 |
| 複合カフェ | — | 58,946 | — | — | 58,946 | — | 58,946 | — | 58,946 |
| カラオケ | — | 10,377 | — | — | 10,377 | — | 10,377 | — | 10,377 |
| フィットネス | — | 5,197 | — | — | 5,197 | — | 5,197 | — | 5,197 |
| ブライダル | — | — | 10,255 | — | 10,255 | — | 10,255 | — | 10,255 |
| その他 | — | 926 | — | — | 926 | 104 | 1,031 | — | 1,031 |
| 顧客との契約から 生じる収益 | 100,035 | 75,448 | 10,255 | — | 185,739 | 104 | 185,843 | — | 185,843 |
| その他の収益 | — | 81 | — | 1,791 | 1,872 | — | 1,872 | — | 1,872 |
| 外部顧客への売上高 | 100,035 | 75,530 | 10,255 | 1,791 | 187,611 | 104 | 187,716 | — | 187,716 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 2 | 15 | 4 | 4,260 | 4,282 | 65 | 4,348 | △4,348 | — |
| 計 | 100,038 | 75,545 | 10,259 | 6,051 | 191,894 | 170 | 192,064 | △4,348 | 187,716 |
| セグメント利益 又は損失(△) | 8,082 | 5,454 | 57 | 1,312 | 14,907 | △1 | 14,906 | △1,045 | 13,860 |
| セグメント資産 | 103,162 | 67,093 | 15,411 | 25,201 | 210,869 | — | 210,869 | 25,458 | 236,327 |
| その他の項目 | | | | | | | | | |
| 減価償却費 | 2,033 | 6,153 | 724 | 174 | 9,086 | — | 9,086 | 504 | 9,590 |
| のれん償却額 | — | 81 | — | — | 81 | — | 81 | — | 81 |
| 有形固定資産及び 無形固定資産の増加額 | 2,912 | 8,087 | 1,343 | 688 | 13,030 | — | 13,030 | 233 | 13,264 |

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告関連事業等です。

2. 調整額は以下のとおりです。

(1) セグメント利益又は損失の調整額△1,045百万円には、セグメント間取引消去3,888百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△4,934百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門等の費用です。

(2) セグメント資産の調整額25,458百万円には、子会社に対する債権の相殺消去△45,696百万円及び各報告セグメントに配分していない全社資産71,154百万円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の土地、本社建物及び構築物です。

(3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額233百万円は、主に全社のシステム関連投資です。

3. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報並びに収益の分解情報
当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 連結 財務諸表 計上額 (注) 3 |
|------------------------|--------------|---------------------|-------------------------|-------------|---------|--------------|---------|--------------|----------------------------|
| | ファッ ション事業 | エンター テイメント 事業 | アニヴェ ルセル・プ ライダル事業 | 不動産賃 貸事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | |
| ファッション | 102,620 | — | — | — | 102,620 | — | 102,620 | — | 102,620 |
| 複合カフェ | — | 60,064 | — | — | 60,064 | — | 60,064 | — | 60,064 |
| カラオケ | — | 10,212 | — | — | 10,212 | — | 10,212 | — | 10,212 |
| フィットネス | — | 5,097 | — | — | 5,097 | — | 5,097 | — | 5,097 |
| ブライダル | — | — | 11,705 | — | 11,705 | — | 11,705 | — | 11,705 |
| その他 | — | 566 | — | — | 566 | 201 | 767 | — | 767 |
| 顧客との契約から 生じる収益 | 102,620 | 75,940 | 11,705 | — | 190,266 | 201 | 190,468 | — | 190,468 |
| その他の収益 | — | 85 | — | 2,135 | 2,220 | — | 2,220 | — | 2,220 |
| 外部顧客への売上高 | 102,620 | 76,025 | 11,705 | 2,135 | 192,486 | 201 | 192,688 | — | 192,688 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 0 | 15 | 7 | 4,741 | 4,765 | 64 | 4,829 | △4,829 | — |
| 計 | 102,621 | 76,040 | 11,713 | 6,877 | 197,252 | 266 | 197,518 | △4,829 | 192,688 |
| セグメント利益 又は損失(△) | 8,690 | 5,991 | 541 | 1,587 | 16,811 | △2 | 16,808 | △1,161 | 15,646 |
| セグメント資産 | 102,523 | 66,818 | 15,646 | 25,693 | 210,680 | — | 210,680 | 22,295 | 232,976 |
| その他の項目 | | | | | | | | | |
| 減価償却費 | 2,050 | 6,371 | 784 | 204 | 9,411 | — | 9,411 | 476 | 9,888 |
| のれん償却額 | — | 81 | — | — | 81 | — | 81 | — | 81 |
| 有形固定資産及び 無形固定資産の増加額 | 3,974 | 8,231 | 848 | 164 | 13,219 | — | 13,219 | 237 | 13,456 |

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告関連事業等です。

2. 調整額は以下のとおりです。

(1) セグメント利益又は損失の調整額△1,161百万円には、セグメント間取引消去3,696百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△4,858百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門等の費用です。

(2) セグメント資産の調整額22,295百万円には、子会社に対する債権の相殺消去△43,451百万円及び各報告セグメントに配分していない全社資産65,746百万円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の土地、本社建物及び構築物です。

(3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額237百万円は、主に全社のシステム関連投資です。

3. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

| | 前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日) |
|------------|--|--|
| 1株当たり純資産額 | 1,627.63円 | 1,686.64円 |
| 1株当たり当期純利益 | 90.03円 | 113.89円 |

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりです。

| 項目 | 前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日) |
|---|--|--|
| 1株当たり当期純利益 | | |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 7,574 | 9,574 |
| 普通株主に帰属しない金額(百万円) | — | — |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 | 7,574 | 9,574 |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 84,128 | 84,068 |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要 | — | — |

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりです。

| 項目 | 前連結会計年度 (2024年3月31日) | 当連結会計年度 (2025年3月31日) |
|---------------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 純資産の部の合計額(百万円) | 137,056 | 142,140 |
| 純資産の部の合計額から控除する金額(百万円) | 299 | 298 |
| (うち非支配株主持分(百万円)) | (299) | (298) |
| 普通株式に係る期末の純資産額(百万円) | 136,757 | 141,842 |
| 1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(千株) | 84,022 | 84,097 |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

役員の異動

本日別途開示しました「当社取締役及び連結子会社の代表取締役の異動に関するお知らせ」をご覧ください。